

福島市中央地区教育構想 基本方針(立体目次)

<中央地区の教育・文化のランドマークとなる先導的な学校>

※ ランドマーク…市民が真っ先に思い浮かべる存在、日本といえば富士山、東京といえば東京タワー、「中央地区といえばあの学校！」

4 中央地区にふさわしい未来の学校像

2 学校教育への期待

- ① 学びの変革、学習者主体の学びの実現
- ② 不登校問題の深刻化、多様な学びを支える教育環境の整備
- ③ 学校の機能拡充、社会教育との連携
- ④ 避難場所として安全な学校、防災機能の拡充
- ⑤ 教員を目指す人材の育成、教員のなり手不足の解消

<先導的な学び>を推進!

ワクワク!

<先導的な学び>とは…

本市に留まらず、県内、全国の小学校教育の先導的なモデルとなる学びを実現する学校、校訓

- ① 子どもが「主語」の授業を基盤にした、学習者主体の学校
- ② 中央地区全体を学びのフィールドにし、探究学習、協働学習を核としたカリキュラムを構成、実践する学校
- ⑤ 子どもと地域住民との交流、ふれあいをとおして共に学ぶ学校
- ⑥ 地域住民が、参画・運営する新しい学校

<多様な学び>を実現!

自分らしく

<多様な学び>とは…

子ども個々の特性やペース、学びたいことに寄り添った支援、教育環境を整備した学校、校訓

- ③ 学びにくさを抱えている子どものニーズに寄り添い、その子らしい学びを尊重する学校
- ④ 一人一人の学びを支えるための柔軟で多様な教育課程による教育活動を実現する特例校

3 市民の意見

- ① 三校の特色や伝統の継承、そして質の高い教育のさらなる発展を
- ② 中央地区の強みを活かした魅力ある学校づくりを
- ③ 学校との関わりをもとに市民が交流、参画、運営できる学校を
- ④ 災害に備え、防災・減災の視点から安全な学校を、避難場所としての機能確保を

地域が学校を支え、学校が地域を活性化させるスクール・コミュニティ!

1 中央地区の実態(課題と強み)

- ① 急激な少子化・学級減による適正な学校規模の維持が課題 子育てと教育で選ばれるまちに
- ② 築年数60年を経過した校舎の老朽化 避難所としての安全性の確保 恵まれた周辺環境
- ③ 中心市街地の空洞化・分断化の懸念 期待される地域コミュニティの再建 交通の利便性が高い

福島市の児童数推移 (出典: 市学齢簿システム)

